

(株)アシュアード

クラウドリスク評価「Assured」

SOMPOグループ全社に導入

Vision aグループの (株)アシュアード (東京都渋谷区、大森厚志代表取締役社長) は8月29日、同社が運営するクラウドリスク評価「Assured」(アシュアード)がSO

MPOホールディングスおよびSOMPOグループ全社に導入されたと発表した。 SOMPOホールディングスは2016年に「SOMPO Digital Lab」を設立し、20年には保険業界から唯一「DX銘柄2020」に選出されるなど、業界の中

でもいち早くDX化を推進。22年5月には、SSC(シェアードサービスセンター)を導入してITサービスの展開やセキュリティ対策の効率化に着手している。今回、社内で急増するクラウド利用において、リスク評価を適切に行ううえでより安心・安全に、また

安定的なクラウド利用を推進するため、グループ全社でAssuredの導入を採用した。 Assuredは、国内外のクラウドリスク評価情報を一元化したデータベース。セキュリティの専門資格を保有するリスク評価チームが、主要なセキュリティガイドラインやフレームワークに基づき調査した最新のセキュリティリスク評価情報を提供する。これにより、各社が独自で行

ってきたクラウドリスク評価業務を効率化し、企業の安全なクラウド活用を実現する。 Visionaグループは、HR Tech領域を中心に、産業のデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進するさまざまな事業を展開。「ビズリーチ」をはじめとした採用プラットフォームや、人材活用プラットフォーム「HRM OS」シリーズを中心に、企業の人材活用・人材戦略(HCM)エ

クシステム構築を目指す。また、M&A、物流Tech、サイバーセキュリティ、Sales Techの領域においても、新規事業を立ち上げている。 SOMPOホールディングスがAssuredを選定した理由は次の通り。

①クラウドサービスの網羅性の高さ・Assuredは国内外のクラウドサービスのリスク評価情報をデータベース化しており、さらに新規で調査依頼もできるため、より網羅的なクラウドサービスのセキュリティチェックが可能。

②グループ会社への展開が可能。クラウドセキュリティチェックのベースとなるリスク評価情報をAssuredのデータベース上で確認できるため、グループ各社のクラウド利用に対するセキュリティレベルの高度化、均一化につながる。

③セキュリティ業務の負荷低減。クラウドCoE(Center of Excellence)クラウド活用を推進するための専門人材が集まる組織を設置するなどクラウド利用を積極的に推進する一方で、安全に利用するために導入現場では日々リスク評価の工数がひっ迫。クラウドを安全に利用できること、現場の負荷を低減することの両面から、Assuredが必要不可欠だと考えた。 アシュアードの大森社長は「保険業界の中

でITサービスの活用とセキュリティ業務の効率化に率先して取り組まれているSOMPOホールディングスに、Assuredのコンセプトや提供価値を共感いただけただけでなく、大変光栄なことだ。DX・クラウド活用が進む中で、各社のリスク管理コストも肥大化の一途をたどっている。Assuredの提供を通じて、企業のデジタル変革を支援できるよう励んでいます」と話している。